

清水用

浅草流落合薬師尊公承双盤念仏 口伝

双盤念仏は、元素、太鼓一、双盤鉦二枚を以って、一組となし、修業するものであるが、当山に、伝わる双盤念仏は、太鼓一、双盤鉦四枚（複双盤）を以って一組となす。

本尊

太鼓

○四番鉦 (しり鉦)

○三番鉦

○二番鉦

○一番鉦 (親鉦)

① 念仏奉納 時至つて五名、事前打合せて担当を決めて着座

② 一同着座準備完了と確認して四番鉦が鉦のサヤ下へカと一打(用意合)

③ 太は各々を叩いて両手のバチを二本そろえて太の中心鼓に軽く押えて深く一礼・鉦の四名も太に合せて一礼する(始め礼)これで

十三鉦に入る

十三
金正



金正

次から金正は打つ
始めの合図で
ト ト ト

ト

ト

ト

ト

ト 10回

ト

ト

ト

合図
三打
最後に

ゆきり

ト

ト

ト

強く打つ

等間かくで打つ

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

ト

強く打つ

念仏

四返

太鼓が唱える。

打ち方は押さへ寝しかで

太・鉦正とも打ちながら正面でとめる。(押える)

始は太鼓のバチを見て打てば良い。

四返

念仏は太鼓が唱える

押して押える

ナ[○]ーア[○]ーハ[○]ア[○]ーハ[○]ンモオ[○]ーホ[○]オ[○]ーア[○]ーハ[○]ーハ[○]ンエ[○]ー

ダ[○]ーア[○]ーハ[○]ーハ[○]ン、ア[○]ーハ[○]ア[○]ーア[○]イ、ナ[○]ーア[○]、ア[○]ーハ[○]ア[○]ー

モ[○]ーホ[○]ーア[○]ーハ[○]ア[○]ア[○]イ、ア[○]イダ[○]ーア[○]イ[○]ーナ[○]ウ[○]モ[○]ーホ[○]オ[○]ト

ア[○]ーミ[○]ーイ[○]ビ[○]イ[○]、ダ[○]ア[○]ーア[○]ア[○]ーア[○]、ア[○]ーハ[○]ア[○]ーハ[○]ア[○]イ

ア[○]ンブ[○]ウ[○]イ[○]ナ[○]ア[○]ーア[○]ア[○]ーハ[○]イ、モ[○]オ[○]ーホ[○]ーア[○]ーハ[○]イハ[○]

ア[○]ーハ[○]イ、ダ[○]ーハ[○]ーハ[○]ンエ[○]ー

五返

押えて合図する
太が下を倒す

念仏は太の合図に依り一番より順次四番まで

一スブツ唱える。

打ち方は「起し」で太・鉦とも打つ

ナンモーホー○
アーミイダァーアハアーハア○

アーハアーハンエー○
ウンナー○
アーナイモオーホーホ○

アハアーハアアハアハア○
アーナイナーアハア○
モーホアーアー○
アーダァーエー○



三ツ鉦

ブ・ヘー 起し四回 (唱えは太・鉦二回ツツ) 起しは打つ
 △
 アー(エー)寝し四回 (太・鉦 二回ツツ) 寝しは押さる
 ●▼

ウー(エー)起し四回

ウー(エー)寝し四回

石に同じ

太から始まり鉦・太 鉦と交互に唱える。

最後のエーの所は次へ移る所は重複する

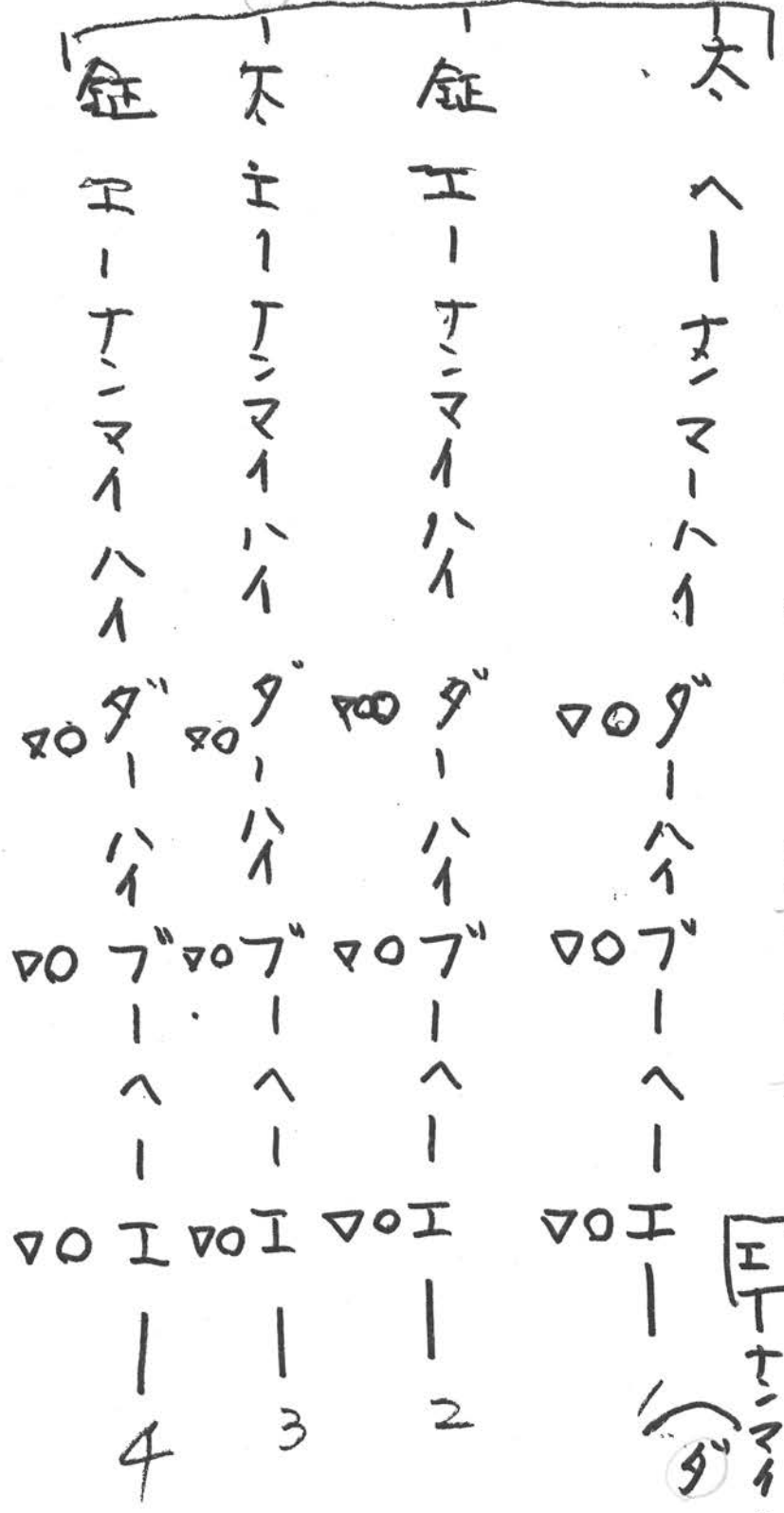
ヘー ナーハイ バイダーハイ ブーヘー
 エー ナーハイ バイダーハイ ブーヘー

エー

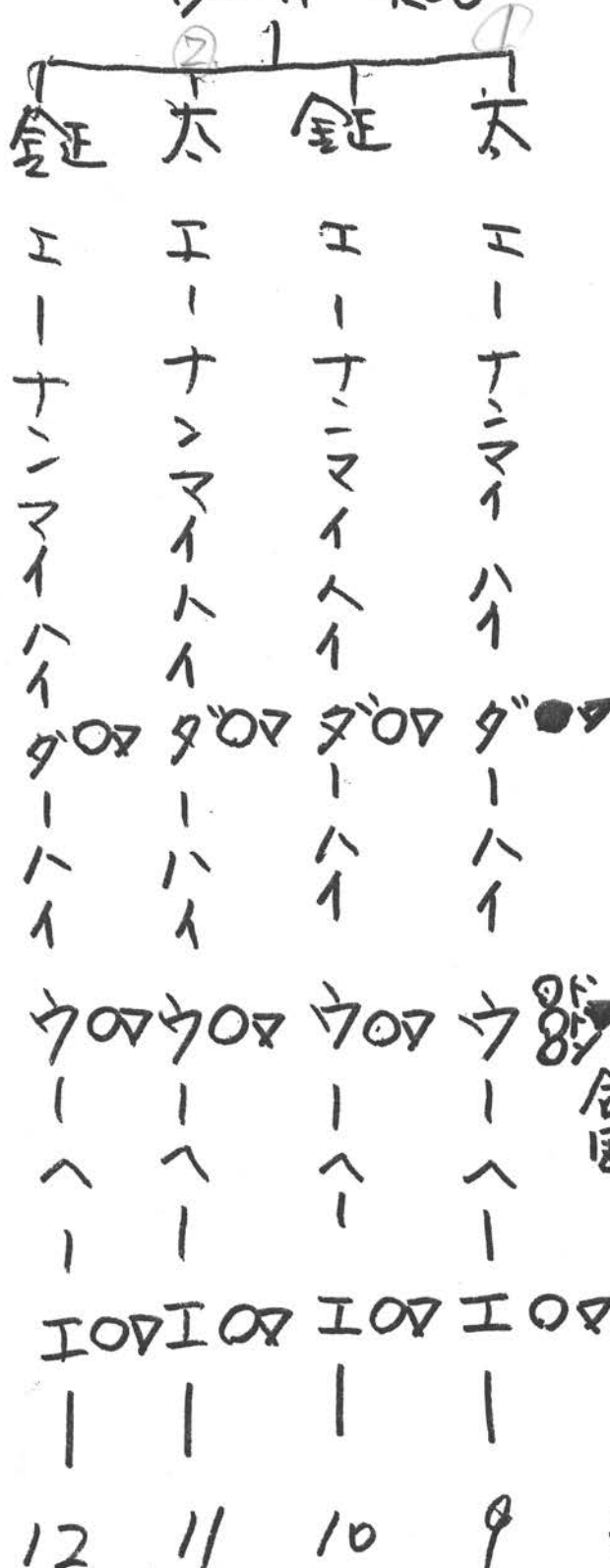
(ダ・ブ・エーの時打つ)

② ブ・ヘーの起し

①

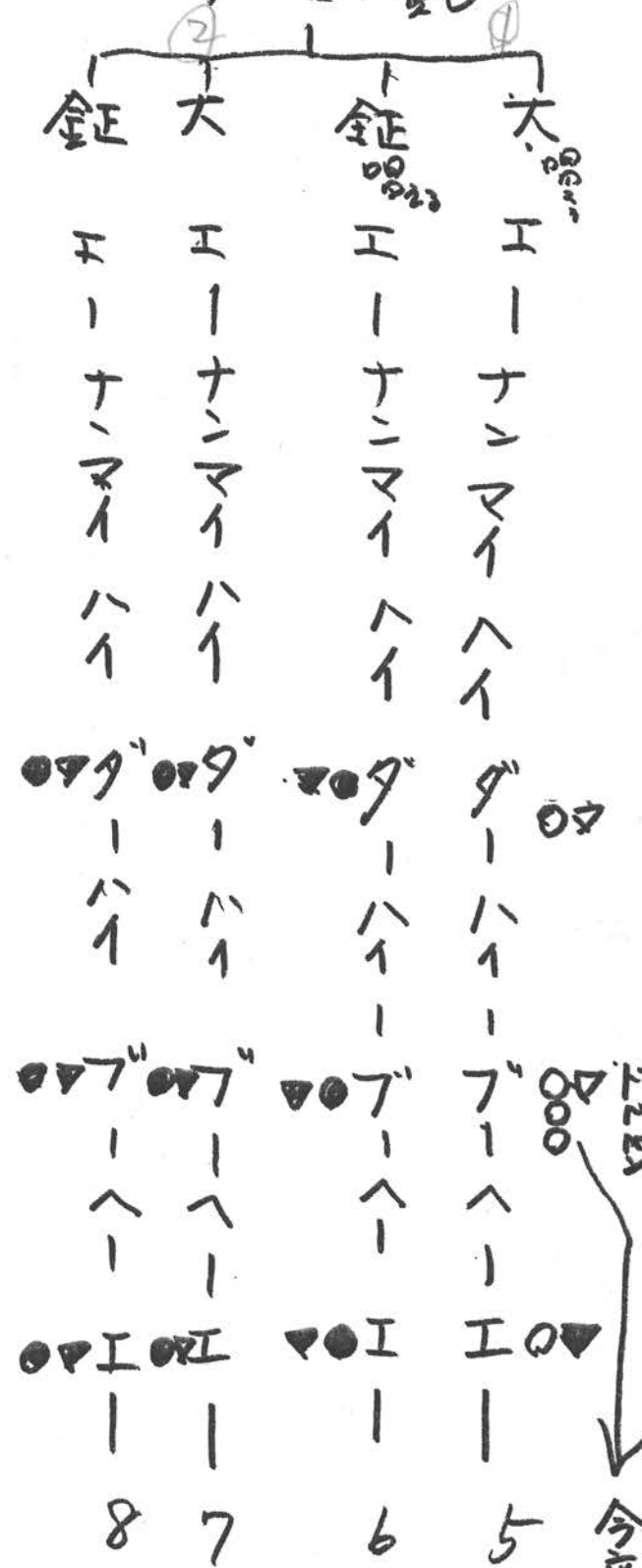


ウーハイの起し



押えから打つにふたため

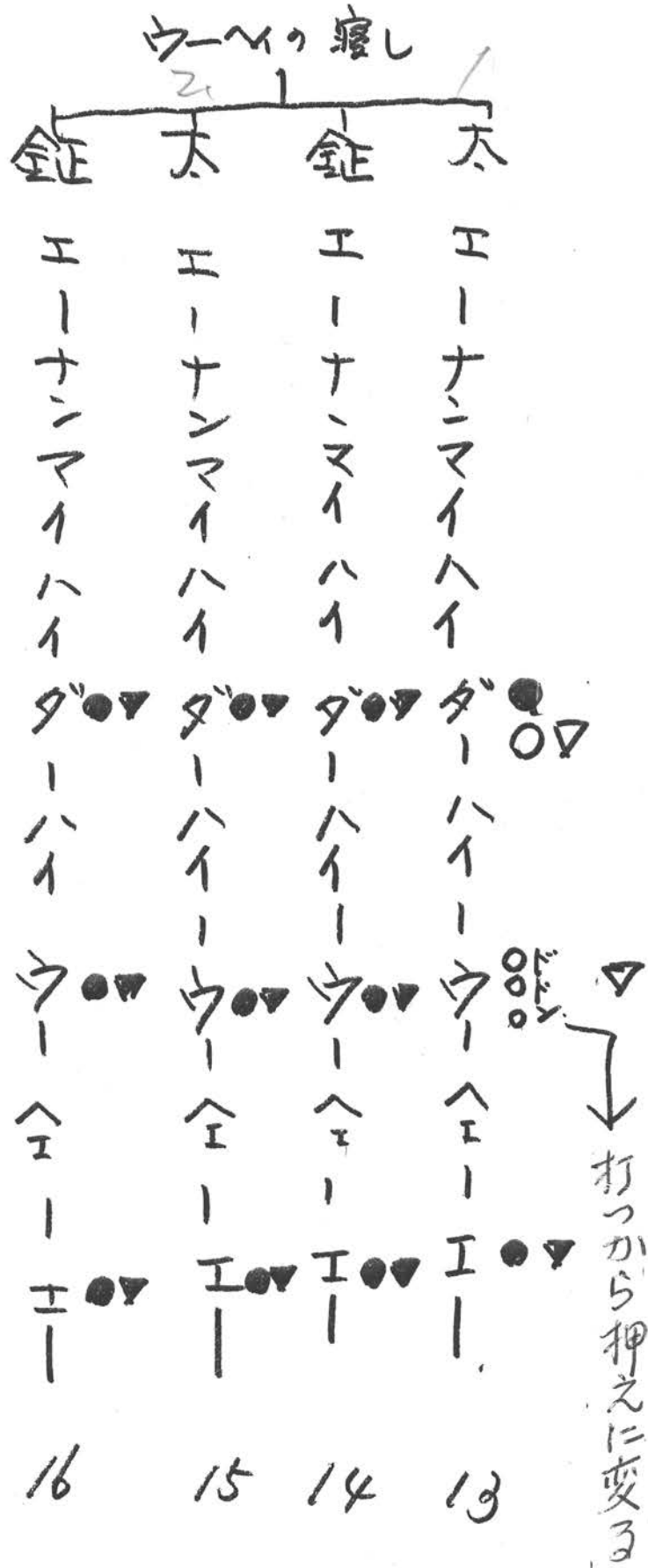
ブーハイの起し



今度は押えに変え大の合

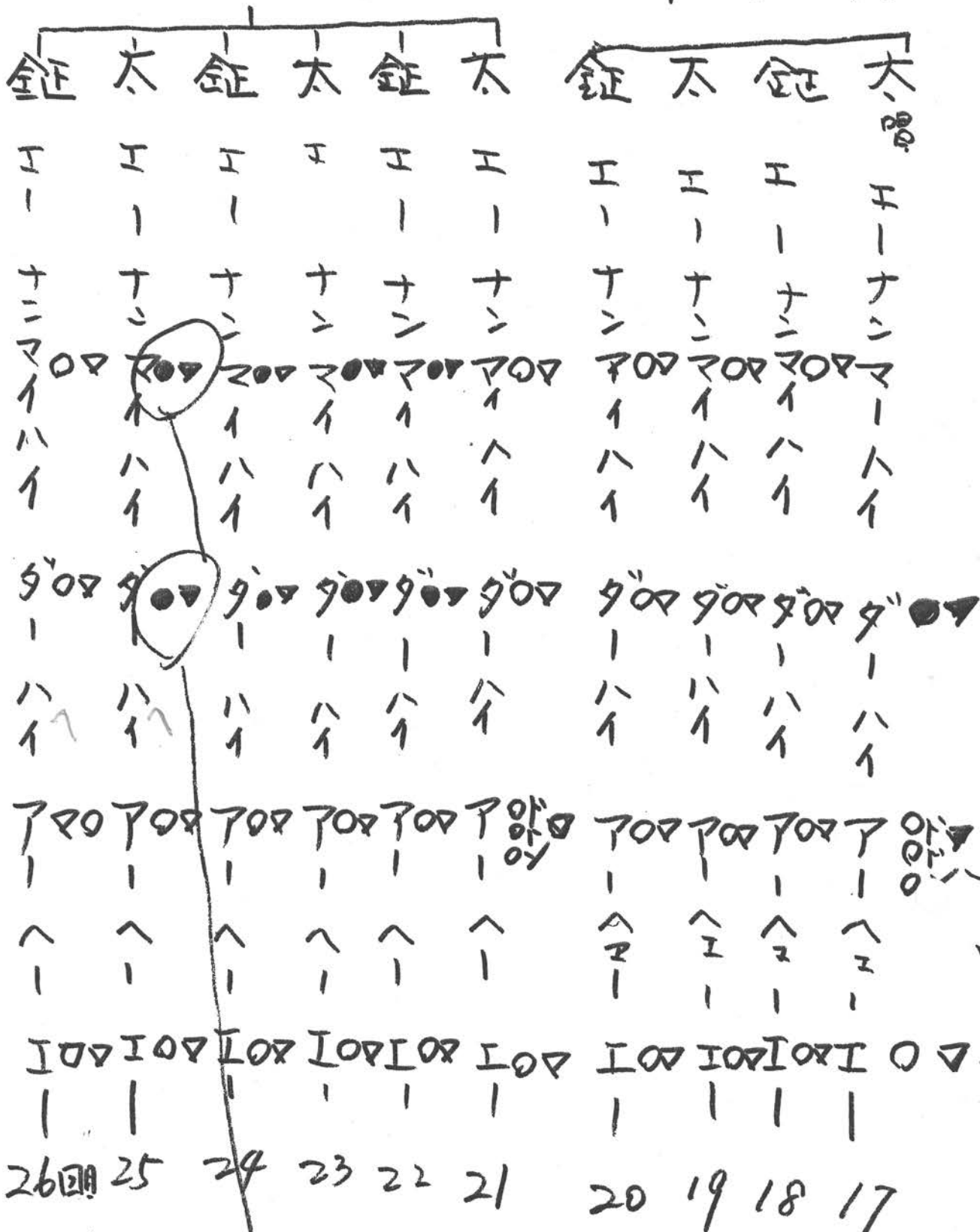
四ツ鉦

三ツ鉦のイーを受けて入る



ア-ハ-の起し

ア-ハ-の起し



銅子の鳴る
太の鳴る

せめしめ

(ジヤン〜と續けて打つてゆく「キサシ」)

太 ○○○○○○

◎ 鉦四枚同じ調子で太の調子に

あわせてゆく。

鉦 △△△△△△

◎ 一番鉦は太・鉦の調子がやや合っていないものを

みて「アーハイナニマイターハイ」と

声をかける。

◎ 太は鉦の合図を合図に

「アイターイアイターツナニマイターハイ」で受ける

自由に入ります

打

玉入れ

玉は七の玉・五の玉・三の玉とあり太の合図に

従って一番鉦・二・三の順に七・五・三と

玉を入れる。玉は「キザミ」キリ強くはつきり

入れる

太は自由打ちをやめて鉦のキザミに合せて

正面をしばらく打つて鉦と合っているのを確認して

送りことばで「アーハイナニマイダーハイ」と太のバチを

下方へ両側へ払う。鉦は向をおかず受けことば

アイダーイ アイダーツ ナニマイダーハイで玉入に入る

大 一 自由打5後に打力を弱めて下カを打5始める(一番鉦の玉を返してもつた)

一 鉦 キザミを続けているが太が下カカを打ち始めた(送りミを)

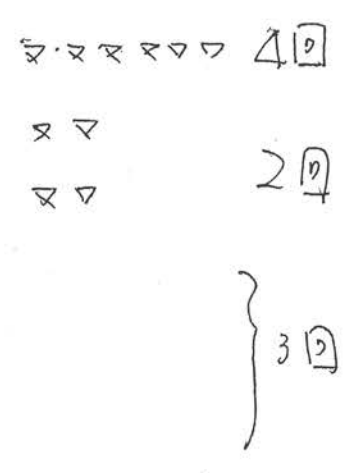
二 三 鉦 キザミも続けている

大 一 鉦 の送りミを(ば)を受けたり・受けミを「アイダブーイ、アイダブーイナンマイグイハイ」を

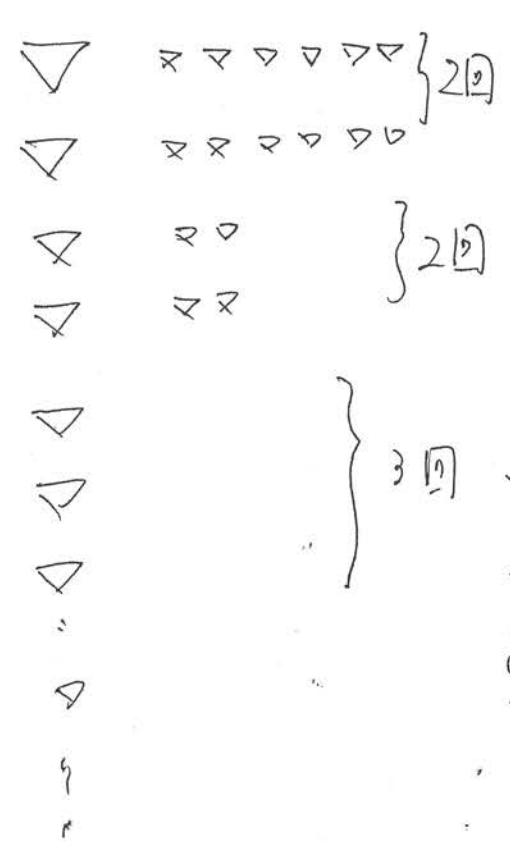
唱えて自由打ちに入る

二、三 番 鉦 は 手 順 は 同 い で、 二 鉦 (五の玉) 三 鉦 (三の玉) を 入 れ 子

2 鉦



3 鉦

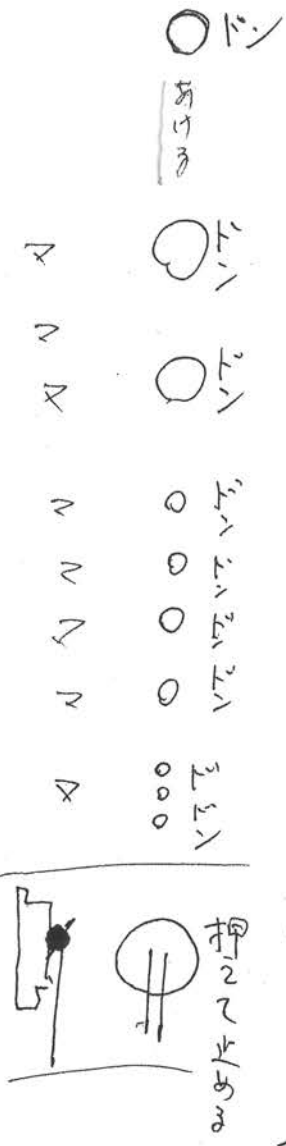
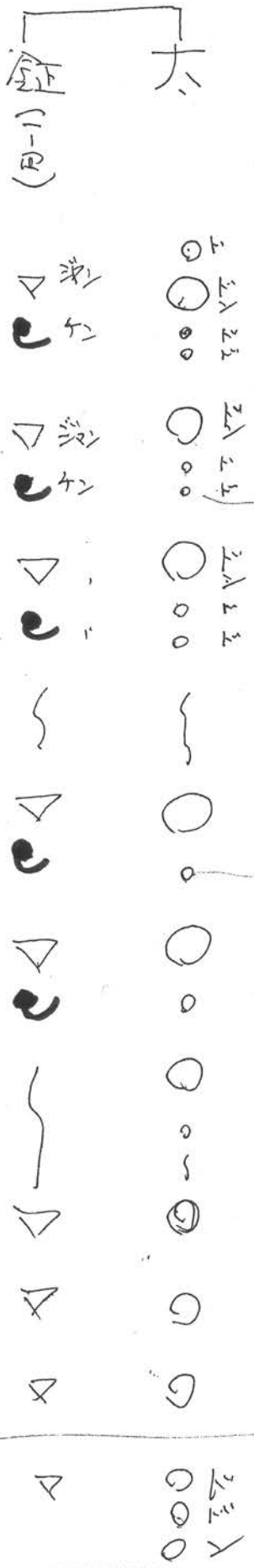


一 鉦(七) 二 鉦(五) 三 鉦(三) の玉が終ると太は自由打ち後

打ち方を弱めて太の下方の所をしぼらく打ち始めるでしぼらくして

↑ 終了の合図を太がするるので鉦は太に合せてやる。

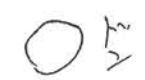
大山越し



小山越し

大から少へ順次攻めあがる

太



鉦



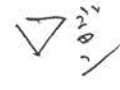
天地の玉



(一打のみ)

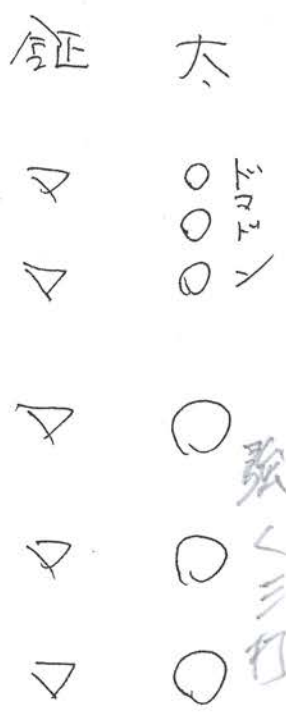
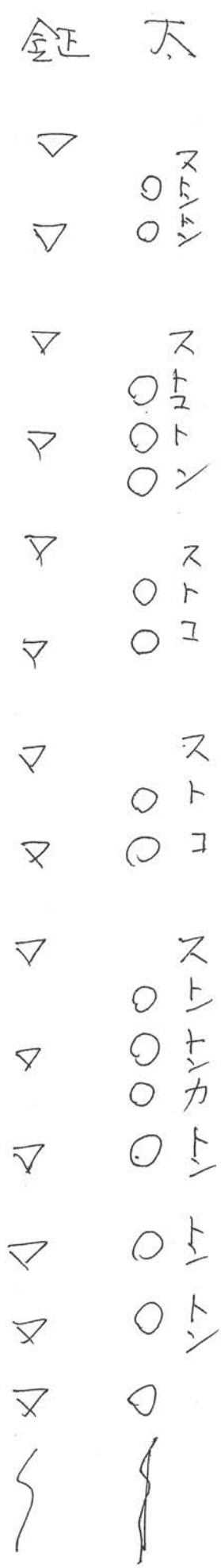
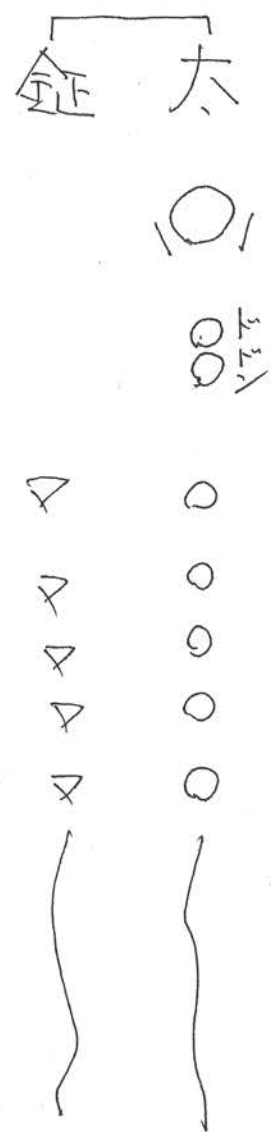


鉦



太

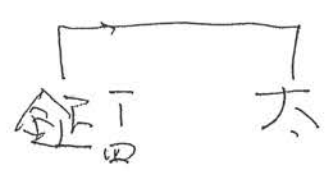
十三 鉦



強く三打

最後の三打は強く打つ

終了



拜礼



拜礼

平成三十四年十一月二十六日

小嶋一様より

当作了りごし

清水真之